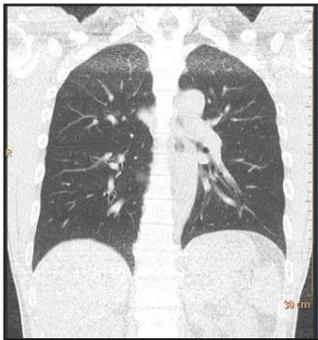




# Ingenuity Elite

- ◇様々な検査状況に対応する技術を搭載した低被ばく128スライスCT
- ◇平成29年12月8日(金)稼働開始

Ingenuity Eliteには直感型ユーザーインターフェースによるオペレーションの負担低減、逐次近似応用画像再構成法、システムモデル逐次近似画像再構成法による被ばく低減・ノイズ低減など、様々な検査状況に対応し、CTの本質的な性能向上を目指した新機能がインテグレートされています。



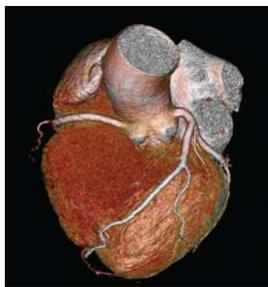
従来法 0.4mSv



iDose4 0.4mSv

## 高画質と低被ばくの両立

CT画像診断において障害となる「ノイズ」「アーチファクト」を低減する技術(iDose<sup>4</sup>)が搭載されています。従来法の画質を損ねることなく、ノイズの低減が可能です。



## 全ての人のための心臓検査

「どんな患者様にも」「誰が検査しても簡単に」高い診断能を有する画像診断をサポートします。

PHILIPSの特許技術により、今まで心臓CT検査の課題といわれていた高心拍・不整脈症例に対して検査を実施することができるため、心臓CT検査の適応範囲が広がります。



従来画像

O-MAR

## 金属アーチファクト対策

CT画像診断において障害となる整形外科領域での金属インプラントからのアーチファクトを低減する技術(O-MAR)が搭載されています。iDose<sup>4</sup>やIMRと併用することにより、より高画質なCT画像を提供します。



# IMR Platinum

CT画像の概念を変える

逐次近似再構成

## 圧倒的な高画質、低被ばく

システムモデル逐次近似再構成IMR Platinumは従来の画像再構成法と比較し、最大「90%ノイズ低減」「低コントラスト検出能向上」

「高速再構成」を実現する次世代型再構成技術です。低電圧撮影と組み合わせることにより、低被ばく検査の実現だけでなく造影剤量を低減させた検査を実施することも可能になります。今までノイズに埋もれていて描出することのできなかった細かな血管の描出も可能になるため、情報量の多い3D画像の作成も可能になります。

iDose<sup>4</sup> 5mm



iDose<sup>4</sup> 1mm



iDose<sup>4</sup> 1mm HR

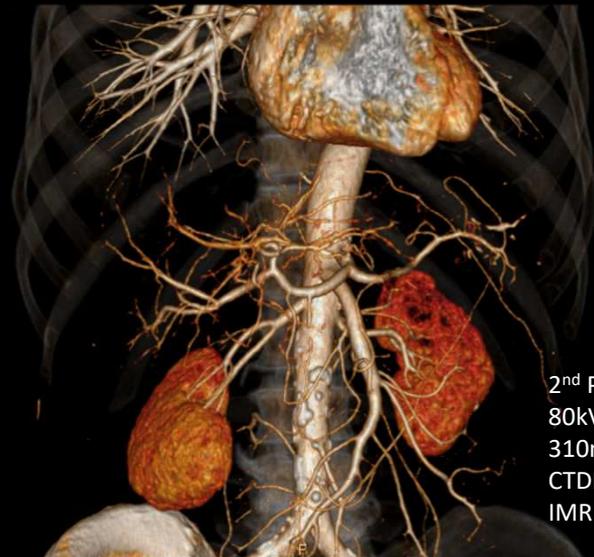


IMR 1mm HR

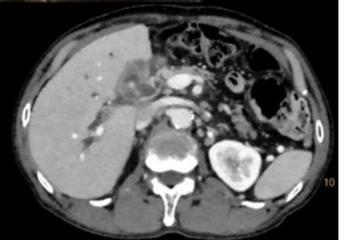


Thin sliceで拡大再構成した際IMRを用いることでノイズが低減される。そのためよりGGOの内部構造や辺縁を画像上にとらえることが可能になります。

120kVp, 165mAs  
CTDI: 10.7mGy



2nd Phase  
80kVp  
310mA  
CTDI: 5.9mGy  
IMR 2mm



使用造影剤量：240mgI/80mL  
低管電圧撮影を行うことにより、低濃度・低造影剤量でも通常の撮影と変わらない検査を実施することが可能になります。